

【ブラストビートについて】(参考:ブラストビート公式サイト)

◆ブラストビートとは

ブラストビートはアイルランド発の社会教育プログラム。高校生や大学生がロックコンサートの企画・運営を通じてビジネスとは何かを学び、利益の一部を慈善事業に還元します。アイルランドで、若者に音楽ビジネスを起業させることで無気力や非行の解決に取り組もうと立ち上がったのが、このプログラムのはじまりです。

日本は世界で 5 カ国目。イギリスでは、高校生の代表がロンドンで最大級のステージ「O2アリーナ」に立ちました。



◆「大人のまねごと・会社ごっこ」じゃない！本気の体験

ブラストビートでは、学生が 8 人～10 人ほどのチームで「ミニ音楽会社」を結成。経営理念や社長などの役職を自分たちで決め、音楽イベントのコンセプト作り、会場探し、アーティストとの出演交渉、チケット販売・・・すべて自分たちで考えて実行します！

音楽イベントの開催は、それ自体がひとつの完結したビジネスです。さまざまな立場の人が関わり、勉強やスポーツでのチャレンジとは一味違う面白さと難しさを感じ、音楽が持つパワーを活かせるのも大事な要素です。



◆利益の25%以上は、自分たちで選んだ活動に寄付！

社会にはたくさんの課題があります。震災からの復興、貧困や差別、教育の問題、途上国の支援、・・・。

その中でも、自分たちが応援したい団体やプロジェクトを選んで、そのために音楽イベントを企画してお金を稼ぎ、その利益の一部を寄付することで、自分たちにも身近な社会貢献を実感できます。



【通常プログラム(3 か月間)の流れ】

◆STEP1:高校生・大学生が「会社」を設立

→会社名、理念、役職などを決めます。

◆STEP2:ライブを企画し、集客する

→コンセプト作り、会場やアーティストとの交渉、スポンサー集め、広報などの活動を行います。

◆STEP3:ライブ当日の運営を行い、利益の 25%以上を寄付する

→利益の 25%以上を自分たちが選んだ NPO やチャリティなどに寄付します。

寄付をするためには、「自分たちが稼いだお金を何に役立ててほしいか?」、「本当に意味のあるお金の使い方は?」などについて、自分たちで考えて調べたり、NPO の現場に話を聞きに行ったりする必要があります。これが社会問題への気づきを促すことにつながります。

*ブラストビートの大きな特徴が「メンター制度」です。

メンターは、学生たちの「会社」の会議に出席し、必要な時にアドバイス等のサポートするのが役割です。何かを指示する先生のような役割ではありません。あくまでも、主役はメンバーです。メンターには過去にブラストビートを経験した大学生や社会人のボランティアが、1つの学生チームにつき3～5人メンターとしてつきます。社会人メンターは、いろいろな業種の会社員はもちろん、自分で起業した人や、プロのアーティスト、クリエイターなど多彩な仕事の人がいて、年齢も 20 代から 70 代まで幅広く参加しています。いつもの学校だけではなかなか出会えない、ユニークな社会人と出会えるのも、ブラストビートの魅力です。

ブラストビート公式サイト: <http://blastbeat.jp>

メンバー募集サイト: <http://blastbeat-e.jimdo.com/>